

『いよし国際交流の翼』 オレゴン訪問記



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

①ウィラメット大学法科大学院 ②セイラム市長・副市長との面会 ③ポートランド市街地 ④クロックセンター野外広場の視察
⑤ウィラメット大学内での研修 ⑥地元新聞に訪問団の記事が掲載 ⑦歓迎の手づくりケーキ ⑧セイラム市での交流会

伊予市の国際交流の新たな礎を築く

9人の訪問団、アメリカオレゴン州に出發

市では、国際感覚豊かな人材育成と市民相互交流のために、平成8年から「国際交流の翼」事業を実施しています。この事業について、今年度から見直しを行い、「将来的な友好都市締結」や「継続的な交流」を目指した活動に方針を変更することとなりました。

訪問先については、以前から伊予市との交流がある、アメリカオレゴン州の州都セイラム市周辺地域に決定し、9月29日から6日間、9人の訪問団が、今後の伊予市の国際交流の礎を築くため、旅立ちました。

行政関係への訪問

州都セイラム市の市長・副市長と面会し、セイラム市政の概要やまちづくりについて説明を受けました。

その後、意見交換を行い、来年度以降の交流についての理解を得ることができました。また、警察長官・副長官にも面会し、国際交流事業の実施にあたって、警察としても協力する旨の了承を得ることができました。

大学施設への訪問

東京国際大学アメリカ校では、約100人の日本人大学生が滞在しており、現地の方と

交流しながらさまざまなプログラムに取り組んでいます。また、ウィラメット大学コースクール(法科大学院)

では、自然に恵まれた広大な敷地の中で、最新の機器を活用しながら専門的な講義が行われており、アメリカの教育環境のすばらしさを改めて実感しました。

クロックセンターの視察

視察2日前にプレオープンしたばかりのクロックセンターは、体育館・プール・トレーニングセンター・会議室・各種教室等を有する総合教育施設で、その施設内容を

実施プログラムは、アメリカでも大きな注目を集めているとのことでした。

民間からの補助を活用して建設されたこの施設は、セイラム市や周辺地域の教育推進拠点として子どもから高齢者まで、幅広い活用が期待されています。

交流会への出席

現地の行政・教育・企業関係者や伊予市に交換留学生として滞在していた学生との交流会に参加しました。

すでに日本の自治体と姉妹都市を結んでいることもあり、日本に対して非常に友好的で、慣れない英語を使いながら交流と親睦を深めました。

訪問を終えて

自然と調和した古い町並み、温かい人々に触れ合いながら、滞在中、数多くの訪問・視察を行うとともに、さまざまな機関の方との交流を深めることができ、来年度以降の継続的な国際交流活動を実施するうえで、大きな可能性を感じました。